

関係各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟  
 会長職務代行者 上月 良祐  
 (公印省略)

2019 年 第 50 回世界選手権大会コンパウンド部門最終選考会 出場者名簿  
 第 30 回ユニバーシアード競技大会コンパウンド部門・リカーブ部門最終選考会 出場者名簿  
 第 16 回世界ユース選手権大会ジュニア部門・キャデット部門最終選考会 出場者名簿

標記の件につきまして、下記の通り決定いたしましたので、関係加盟団体の担当者の方は至急所定の手続きを行ってください。

## 記

## 第 50 回世界選手権大会コンパウンド部門最終選考会

&lt;男子&gt;3 名

&lt;女子&gt;3 名

(出場申請者数: 5 名 通過点 1389 点)

(出場申請者数: 4 名 通過点 1352 点)

出場選手は、有効期限が 2019 年 8 月以降のパスポートを持参すること。

野々下 進	小田開発工業株式会社	本多 由美子	北海道アーチェリー連盟
中村 和音	株式会社リコー	宮田 悦子	株式会社ウラノ
難波 大雅	愛知産業大学	天神 聡子	広島県立佐伯高校教諭

## 第 30 回ユニバーシアード競技大会コンパウンド部門最終選考会

&lt;男子&gt;3 名

&lt;女子&gt;1 名

(出場申請者数: 5 名 通過点 1379 点)

(出場申請者数: 1 名 通過点 1280 点)

出場選手は、有効期限が 2019 年 8 月以降のパスポートを持参すること。

難波 大雅	愛知産業大学	根建 彩香	愛知産業大学
藤田 直人	長崎国際大学		
岸 亮輔	亜細亜大学		

## 第 30 回ユニバーシアード競技大会リカーブ部門最終選考会

&lt;男子&gt;6 名

&lt;女子&gt;6 名

(出場申請者数: 16 名 通過点 1346 点)

(出場申請者数: 16 名 通過点 1307 点)

出場選手は、有効期限が 2019 年 8 月以降のパスポートを持参すること。

鬼山 直也	近畿大学職員	小城 碧	(公財) 福井県スポーツ協会
戸松 大輔	愛知産業大学三河高校	古田 悠	株式会社百五銀行
石井 佑汰	日本体育大学	堀口 理沙	近畿大学
中西 絢哉	近畿大学	大橋 朋花	近畿大学
河田 悠希	日本体育大学	山内 梓	近畿大学
杉尾 知輝	(公財) 福井県スポーツ協会	安久 詩乃	同志社大学

## 第16回世界ユース選手権大会ジュニア部門最終選考会

<男子>4名

戸松 大輔 愛知産業大学三河高校  
桑江 良斗 近畿大学  
石井 佑汰 日本体育大学  
中西 絢哉 近畿大学

<女子>3名

大橋 朋花 近畿大学  
松下 千華 星翔高校  
居樹 佳奈江 近畿大学附属高校

## 第16回世界ユース選手権大会キャデット部門最終選考会

<男子>8名

青島 鉄也 長崎県立大村工業高校  
伊藤 魁晟 東京都北区立稲付中学校  
長田 祐馬 山梨県立甲府城西高校  
岩佐 永寿 甲南高校  
駒形 柊斗 埼玉県立豊岡高校  
野田 慶一郎 東京都北区立稲付中学校  
長田 蓮 山梨県立甲府城西高校  
平林 真知 近畿大学附属高校

<女子>9名

園田 稚 東京都立足立新田高校  
上原 瑠果 甲南女子高校  
渡邊 麻央 東京都立足立新田高校  
小原 佳子 松山東雲高校  
渋谷 樹里 大津市皇子山中学校  
眞弓 怜奈 三重県立四日市四郷高校  
西嶋 詩緒里 福井県立丹南高校  
朝永 絵梨花 長崎県立諫早東高校  
加藤 帆乃香 静岡県立浜松商業高校

(注意)

- ① 選考決定後の辞退は認められません。  
(会場：静岡県掛川市 つま恋リゾート彩の郷 第1スポーツ広場)
- ② 第50回世界選手権コンパウンド部門最終選考会及び第30回ユニバーシアード競技大会コンパウンド部門・リカーブ部門最終選考会の出場者の参加費5,000円は、4月3日(水)までに(公社)全ア連事務局まで振り込んでください。
- ③ 宿泊・弁当申し込みは4月3日(水)までにつま恋リゾート彩の郷へ行ってください。
- ④ ユニバーシアード派遣手続について

リカーブ・コンパウンド代表選手は、下記のとおり派遣前手続きを行う。

4月13日(土) つま恋リゾート 彩の郷 宿泊

4月14日(日) つま恋からJISS/NTCへ移動(バス移動)

4月14日(日)・15日(月) JISS/NTCにてコンプライアンス等研修受講・練習

4月16日(火) JISS/NTCにて派遣手続およびメディカルチェックを実施。

終了後解散(Tシャツ・ショートパンツを持参)

### 選手の心構え

- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしく、かつ他国参加者との友好と国際親善に寄与できること。(JOCによる日本選手団編成方針抜粋)
- ② ドーピング検査への対応
  - ☆選手は、競技会前7日間に服用した医薬品(処方薬・売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と量を記したメモを携行することが望ましい。
  - ☆病気・怪我等の治療のため禁止物質の服用および禁止方法を実施している場合、「JADATUE 申請書」を日本アンチドーピング機構(JADA)に提出する必要がある。  
TUE →治療使用特例
  - ☆不明な点は、全日本アーチェリー連盟事務局に問合せること。

以上